

平成30年1月4日(木)

老球の細道383号

爺一(犬) グランプリを目指す1年に

会津バスケットボール協会 室井 富仁

「毎日がお正月」「毎日が誕生日」を自負する私だが、やはり本物のお正月にはかなわない。お正月に対する集中力と説得力が変わってくる。何事もスタートは緊張するし、新鮮な気持ちで取り組むことができる。今年は昨年と違う年に、今日は明日と違う日に、明日はまた今日と違う日に。日々新たなり。今年の正月はいつになく厳粛な気持ちとなった。

思えば昨年はこちら数年の中で最も充実した1年だった。なんとといっても体調を崩すことがあまりなかったからである。原因は、1昨年末インフルエンザに罹患してから免疫力の低下に気づき、1日2回のトレーニングを実施した。血圧も安定し、夢の100台(収縮期血圧)を1回達成し、体重も高校時代の64kgにダウン。そして毎年恒例の人間ドックにおいては、久しぶりの「要精検」なしの記録を達成したのである。そのため、クリニック、大学授業、Bリーグディレクターの仕事は1度も休むことがなく、学生時代同様皆勤賞を達成した。

クリニックにおいては、1昨年まで続けてきた「バスケットボールスクール」10回、「コーチングスクール」6回を止めたのにもかかわらず、昨年はさらに多くの回数のクリニックを依頼されて非常に勉強になった。これも体調管理と多くのコーチ仲間の支援の賜物である。

昨年在り充実した1年だったので今年は油断してはいけない。また、慣れきってぬるま湯に浸ってはいけない。まだまだ上を目指さなければ、たちまち老いの老いの老い。ライバル郷ひろみが紅白歌合戦時に演じた「大阪登美丘高校ダンス部」とのコラボレーションはすごかった。まだまだ彼のキレと若さには追いつけない。

毎年人並みに、年末には「重大ニュース」、新年には「スローガン」と「目標」を私の懐刀の『日本能率手帳B5黒ラベル』に書きまくる。

今年のスローガンは「油断大敵！慣れはダレ！生ある限り学び狂え！」とちょっと長めにして気合を入れた。それをふまえて「地球戦隊爺爺マン」としての観点から具体的な目標を考えている。この作業が終了してから私の2018年はスタートする。2年前の「三爺」からレベルアップして「四爺」のカテゴリーで爺ワングランプリを目指す。

①チェン爺：マンネリに陥らないよう変化すること。昨年は安全、安定をねらい内向き志向だったが、今年は外向き志向に。そして「自己中」「アル中」から「他己中」「節酒」。

②チャレン爺：挑戦すること。アメリカバスケットボールの有名コーチの原書が本箱に眠っている。英語の勉強がてら読破してみたい。新たなコンビネーションオフENSEの指導方法、モーションオフENSEのシステム、ミニゲームドリルの開発。

③リベン爺：昨年十分できなかった読書量を増やしたい。今年は戊申150年。会津の歴史をもう一度。そして今まで積んどくだけだった本に陽の目をあびさせて読書量を増やしたい。読書を増やすことでさらに新たな発想のヒントを得られれば幸いである。

④スーパー爺：何かにおいて卓越すること。常識を覆すこと。今現在何も思いつかない。しいて言えば、またコートに立てるくらいのスキルと体力向上に励むことか。

あと1年で世に言う「高齢者」の仲間入りとなるが、暇で孤独な荒野を毎日走り回る。